

注文票

FAX 048-432-7335		
氏名:	住所:	電話: fax:
	〒	
新書版 140 頁 注文数 部 定価: 本体 980 円 + 税 2004 年 8 月 8 日 発売		
日本僑報社刊行日中関係の本 『中国人特派員が書いた日本』 『永遠の隣人 -- 人民日報に見る日本人』 『日中相互理解とメディアの役割』 『日中ホンネで大討論!』 『中国人の見た日本』 『中国人の日本語著書総覧』 『日本華僑社会の変遷』 『華僑社会の変貌とその将来』 『中国人の日本奮闘記』 『中国の1万2967人に聞きました。』 『私が出会った日本兵』 『つくる会の歴史教科書を斬る』 『新中国に貢献した日本人たち』 ほか多数		

外国人に夢を与える社会を作る

——縮小してゆく日本の外国人政策——

東京入国管理局長 坂中英徳 著 ISBN 4-931490-89-1



著者略歴

東京入国管理局長 坂中英徳 (さかなか ひでのり) 1945 年生まれ。慶応義塾大学大学院 法学研究科修士課程修了。1970 年法務省に入省。入国管理局入国在留課長、名古屋入国管理局長などを経て現職。著書に『今後の出入国管理行政のあり方について』『在日韓国・朝鮮人政策論の展開』『日本の外国人政策の構想』など。

完全対訳・日中両国語版

【本書より】
 まもなく日本は人口減少期に入る。二〇〇六年の一億二八〇〇万人をピークに、日本人口は急ピッチで減ってゆく。出生率がこのままの低い水準で推移すれば、五〇年後は一億人を切り、一〇〇年には六四〇〇万人へと半減すると推計されている。
 人口の激減が国家・社会全般に計り知れない影響を与えることは間違いない。人口が増加から減少へ転換する二〇〇〇年代初期の日本は、明治維新、第二次世界大戦後の大変革に匹敵する根本的な制度改革を迫られる。人口減少時代の到来を契機として、日本人の生き方、日本国の民族的構成、社会経済制度等を根本から見直し、「新しい日本」に生まれ変わらなければならない。
 未曾有の数の外国人を迎え入れるためには、まず外国人を「友人」として歓迎する国民世論が形成されていることが前提である。その上で、世界中の人たちが進んで移住したいと希望する「外国人に夢を与える日本」へ変わらなければならない。すなわち、国籍、民族的出身を問わず、すべての人の機会均等を保障し、実績をあげた人が評価され、社会的地位を得ることができ、開放社会を作る必要がある。同時に、多

様な価値観と文化が尊重される社会、いわゆる多文化共生社会を築かなければならない。日本が外国人にとって魅力ある国に変身しなければ、世界規模で展開される人材争奪戦において優秀な外国人を十分獲得することはできないからだ。
 さらに加えて、世界各国から多彩な人材をたくさん受け入れ、殺到する入国申請案件を適正に処理するため、世界に開かれた透明で公正な外国人受け入れ基準と入国手続を定める必要がある。どのような外国人受け入れ基準を策定するかについては、日本国の最重要の課題として、各界の英知を集めて慎重に検討されるべきである。

目次

外国人受け入れ政策は百年の計である
 日本が世界のモデル国となる
 二つのシナリオ
 「縮小社会」の入国管理政策
 多民族共生社会を作れるのか
 「好ましい外国人」観の形成に向けて
 外国人政策の国民的議論を
 二つの道
 外国人と共生する心構えはあるか
 共生社会の構築課題
 テロ対策は急務
 人口減へ対処を